

平成 24 年 8 月 31 日
教頭 代 崎 勝

韓国姉妹校・忠南高校訪問実施報告

本年度、姉妹校である忠南高校に本校の生徒を派遣し、両校生徒の交流を予定していました。しかしながら、参加人数等の関係で実施を見送りました。昨年度からの交流の流れを絶やさず、本校の友好的な姿勢を示すためにも、直接お会いできる機会を模索し、何度か忠南高校と連絡を取り合っていました。そして、日程の調整が付き、忠南高校訪問が実現しました。以下はその報告です。



8月20日(月)成田空港から1時間50分、仁川(インチョン)空港到着。時差はなし。
翌21日(火)午前8時32分ソウル駅発、KTX(韓国の新幹線)に乗車、9時30分にテジュン(大田)駅到着、教頭先生とソン先生の出迎えを受けました。車で15分程度、

学園都市のように整備された一角に忠南高校がありました。



玄関前には、歓迎の立て看板があり、そこには本校の校名と私の名前が書かれていました。

「歓迎 市川昂高校
代崎 勝教頭先生」



朴(ボク)校長先生に日本からのお土産を渡し、校長先生からも50周年の記念誌や記念品をいただきました。忠南高校は昨年50周年を迎え、記念式典を行い記念誌や記念品を作ったそうです。10年おきに実施するのは日本と同じです。

校長先生から、昨年度の忠南高校生徒の日本訪問に関する感謝の言葉がありました。また「今年の冬にも是非生徒を訪問させたい」との要望があり、日本や本校に好感を持ち、本校との交流を一層深めていきたいと期待していると感じました。



忠南高校は男子高校で在籍約1300人、近隣の高校の中では高い進学率を誇り、放課後や休日に補習を実施し、夜の10時まで勉強しているそうです。自転車通学が多く、交通機関はバスのみです。韓国では鉄道の整備は進んでいないようで、地方都市での移動は車やバスが主な交通手段です。

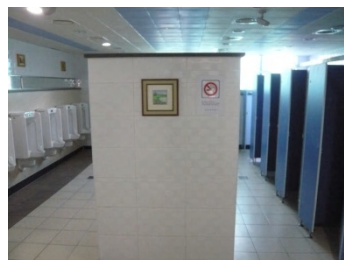


2, 3年生の230名が選択科目として日本語を選択しています。韓国では8月17日から2学期が開始していました。

5階建ての校舎は立ち並ぶ高層マンションに囲まれ、グラウンドは小ぶりで、体育館はバレーコートが一面とれる程度です。体育の実技や家庭科(?)の授業を参観させていただきました。教科書を使いながら「結婚について」を学習しており、「結婚相手はどのような点を重視して選ぶべきか」を先生が質問していました。

廊下の一角には備え付けのベンチがあり、新装されたトイレと記念室がとてもきれいでした。

5階建ての校舎は立ち



授業見学の後、昨年日本でホームステイをした忠南高校の生徒たち8名と先生1名と意見交換会を行いました。それぞれ生徒は日本語で自己紹介をしてくれました。私も英語を使いましたが、やはり韓国語で通訳の先生に頼りながら、日本の高校や高校生についての質疑応答に多くの時間を割きました。「日本の高校生は放課後どのように過ごしているのか」「校則は厳しくないか」「日本の高校生は韓国音楽を聴くのか」などの質問があり、日本に対して好印象を持っていてくれていると感じました。

日本に来た生徒たちから、お土産をいただきました。韓国のりや小物、おかしなどです。

